



# 豊高だより

平成28年12月22日発行 通算42号  
埼玉県立豊岡高等学校

題字：金子 絵美（書道部2年）

## 巻頭言

校長 鈴木雅士

### 一 はじめに

本年度も3分の2が経とうとしています。主要な学校行事は大体終わりました。あとは年末年始をはさみ、ゆつくり三学期を迎えるだけ、と思っけていてもいいのですが、高校三年間の流れで見れば、一年次は9分の2、二年次は9分の5、三年次は、大詰め9分の8を終えたということになります。高校は、三年間が1サイクルです。ちょうど螺旋階段を上がっていくイメージでしょうか。中学三年間もそうでした。年齢が一つ違えば、やることも求められることも異なります。なにより生徒の皆さんにとっては、見方考え方や行動も一年で大きく変容していることでしょう。そのことがちゃんと見て取れるのでうれしい限りです。

### 二 二学期を振り返って

さて、ここ入間市では、8月22日の台風9号の記録的な雨量により、霞川と不老川が氾濫し、大きな被害をもたらしました。さらに、のちに東北や北海道に甚大な被害をもたらした台風10号の接近により、8月30日の始業式が危ぶまれるほどでした。そのような中で、豊高祭が、短い準備期間にも

関わらず、無事に開催できました。皆さんの努力によって、見事な内容とともに予想を上回る来校者数を記録するなど、思い出に残る豊高祭になったと思います。とくに三年次生は、豊高祭での活躍の勢いそのままに進路対策が本格化し、学習にも熱を帯びてきました。進学講習も活発に行われ、面接練習や模試などにも積極的に挑戦してきています。私も模擬面接を担当しましたが、自身の進路について、本当によく考えていることが伝わってきました。また、自習コーナーで根気よく学習する姿は、朝も夕も途切れていません。目標を定め、ぶれずに突き進むたくましさのあらわれでしょう。

また、二年次生では、11月に三泊四日の沖繩修学旅行がありました。平和学習や体験学習が目的であることが大変よくわかるも



のとして、豊高祭に展示した学習発表は見事でした。さらに、実際の離島での体験は、本島での至れり尽くせりの環境では経験できない生の生活や文化に直接触れることができ、沖繩についての知見が大いに広がったことと思います。よい思い出になったことは間違いないと思いますし、苦い経験もまたいい勉強になった、と大切にしてくれることでしょう。



そして、11月に雪が降るのは54年ぶりといわれる積雪を24日に記録しました。近年、天気予報の精度がかなり上がっていると思っけるので、未明からの記録的な積雪予報に、「備えあれば憂いなし」の心構えでいたのですが、雪の中、元気よく登校してくる皆さんの姿には、心配をよそに励まされました。それにしても、「記録的な」とか「過去にない」と言われるような

自然現象が多発してきていると思えてなりません。万が一のための備えの意識を高く持っていることが必要です。

部活動では、秋の新人大会での活躍が目立ちます。陸上部とバトンの関東大会出場を始め、男女ソフトテニス部、男子バスケット部、アーチェリー部が、県大会出場を果たしました。大会の成果に限らず、新チームになっても、文化部も含め、どの部活動も活動の勢は増すばかりです。あまり派手ではないけれど、基礎基本を最も大事にした本校では、学習と部活動を両立していくところが、螺旋階段を確実に昇り詰めていく力だと思えます。

### 三 おわりに

今、やはり気になるのは、進路決定状況です。進路指導部からAO入試や推薦入試、就職先の決定など順調に結果を出してくれていると報告を受けています。年明けからは、一般入試が始まります。これには二百名以上の生徒が挑戦します。厳しい受験環境の中にあつても、ラストスパートの頑張りも期待したいと思えます。三学期も頑張りましょう。

### 各年次より

#### 『三学期、そして二年次に向けて』

一年次主任 井口正則

二学期が終わろうとしていきます。一学期に255名だった皆勤者は、二学期は184名と激減しました。寒くなつて体調を崩す生徒が増えたという面はありますが、遅刻はほぼ倍増しています(年次全体の一日当たりの遅刻者が一学期は0.7名だったものが二学期は1.4名)。改めて生活習慣を顧みてください。

成績面では、成績不振者と良好者が固定しつつあります。不振者・良好者にかかわらず、一・二学期の成績を反省した上で復習・予習など、三学期の準備をしておくことが必要です。

若者を取り巻く環境は厳しさを増すばかりです。現時点で「将来の職業」の具体的なイメージがある生徒は少ないかもしれませんが、その有無にかかわらず、進路実現には学校の成績に留まらない幅広い「力」が求められます。一・二学期に学んだことを過去のものとせず、確実に定着させた上で次の学期・年次に繋げることが必要です。

今年の一年次生を見ていて感じることは、真面目で素直な生徒が

多い反面、すべての生徒が何事も「受け身」であるということですね。自ら意欲的に取り組んだり、自分で考えて行動したりというよりは、周りの様子を伺ったり、誰かから指示されたりしてからでないと動き出さない傾向があります。周囲に心を配り、自分勝手な言動を慎む、というのは集団生活の上で大切な姿勢ですが、自分の進路や、その実現のための学習の取り組みは主体的でなければ前へは進めません。人は高い意識や強い動機がなければ、楽な方へと流されてしまうものです。まだ一年生だからと思わず、「将来」を見据えた上で、「今」を過ごしてください。

#### 『修学旅行を終えて』

一年次主任 橋本克洋

11月9日(水)から12日(土)の三泊四日の日程で沖繩に修学旅行に行ってきました。天候にも恵まれ、朝夕は若干肌寒さも感じましたが、昼間は暖かく、日差しの強さを感じながらマリン体験もでき、大きな事故もなく、無事終了することができました。今回の修学旅行では沖繩本島から船で片道70分をかけ、渡嘉敷島に渡りました。限られた日程の中で移動に時間を費やしましたが、その代

わりにより観光地化されていない手付かずの自然に触れることができました。シュノーケリング体験では二モ(カクレクマノミ)にも会えました。

11月26日(土)には、保護者会を開きました。当日は100名を超え保護者の方にご参加いただき、ありがとうございました。教務部から「奨学金について」、進路部から「大学進学を取り巻く状況・スタディーサポートから見た二年次の様子・進路実現に向けて」という内容のお話をしました。ご都合がつかず欠席されたご家庭には生徒を通じて資料を配布いたしました。参考にしていただければと思います。また、修学旅行の様子を保護者の方に見ていただくために、クラスごとにまとめた写真を掲示しました。

さて、高校生活最大の行事の修学旅行も終わりました。気持ち切り替えて今一度進路について考えてみて下さい。学校では「二年次の三学期を、三年次0学期として、準備を怠らないこと」と生徒を指導しています。すでに受験勉強を始めた人は計画通り進んでいますか。保護者会でも進路部から報告がありました。進学を取り

巻く状況は大きく変わりつつあります。その変化に対応できていますか。確認してみてください。まだ受験勉強を始めていない人は、一日も早く始めてください。まず、自分に何が足りないか考えてください。そして、学校の授業が基本であることを忘れないでください。

### 『現役受験生はまだまだ伸びる』

三年次主任 天海雅充

先日の球技大会では、どのチームも優勝を目指し熱戦を繰り広げていました。特に三年次生は、最後の行事でもあり、先輩として後輩には絶対負けられないという意地もあり、1つのボールを必死に追いかけていました。負けて悔し涙を流している姿も見かけましたが、プレーでも応援でもクラスが丸となって球技大会を楽しめたのではないのでしょうか。

二学期も終わり、三学期になるといよいよ受験シーズンを迎えます。1月14日、15日のセンター試験には三年次生203名が受けまます。その後、1月下旬の私大入試から3月中旬の国公立大学後期入試まで一般受験は続きます。一般受験に向けたガイダンスが二学期に3回実施され、志望校を

決定する上で重要な情報を得られたと思います。12月16日のガイダンスでは「受験の鉄則」「センター試験について」「冬休みの学習」「調査書の発行について」等、一般受験に向けて重要な内容が話されました。そして、「現役受験生はまだまだ伸びる」「第1希望をあきらめるな!」「折れない心を最後まで持ち続けることが大事」というアドバイスもありました。

やはり、この時期になると模試の結果に焦りを感じる人が出てきます。しかし、模試の結果がD判定やE判定でも志望校に合格している人もいます。これは模試から本番の入試までの期間に成績が大幅に伸びた証です。センター入試までは約三週間、私大入試までは最低でも40日間の時間が残されています。現役受験生はまだまだ伸びるので最後まで粘り強く努力を続け、さらに成績を伸ばし、合格を手にしてほしいと思います。現役受験生の健闘を祈っています。

最後に、今年度も職員室東側にある「さくら掲示板」が第一希望の進路先の書かれた312名の桜の花びらで満開になることを願っています。

### 生徒指導部より

### 『冬季休業を迎えるにあたり』

生徒指導主任 白木恭彦

身を切るような寒さを感じられる季節となりました。保護者の皆様には、日ごろから本校の教育活動、とりわけ生徒指導に対してご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。

ところで、昨今新聞やテレビのニュースを通じて、中高生絡みの事件や事故の記事をよく目にします。この夏に発生した東松山での殺人事件は、その最たるものであることは言うまでも無いことだと思います。そのほか同級生による「いじめ」が原因と疑われる自殺など、大変痛ましい事件が後を絶ちません。



幸い本校では、今年度大きな事件や事故は発生しておりませんが、決して油断出来ないことであると考えております。

生徒指導部では、事件や事故を未然に防ぐための方策の一つとして定期的に「いじめアンケート」を実施しております。被害生徒からの訴えはもちろんのこと、生徒からの各種の情報提供などにより、全校生徒が安心して高校生活を送ることが出来るための環境づくりに取り組んでおります。その中で、やはり気になるのが、SNS上(ツイッターやライン、最近ではインスタグラムなど)でのトラブルです。個人的不適切と思われる動画の投稿や、他人を誹謗中傷するようなものまで、その内容については多岐にわたっています。

本校に限らず、高校あるいは中学校で発生する人間関係上のトラブルの多くが、SNSに端を発しており、またその殆どが些細な行き違いが原因であると言われています。

SNSを巡る被害者にも加害者にもならないため、さらには先述のような事件や事故に巻き込まれないためにも、比較的ご家族が多く顔を合わせる機会(冬季休

業)を利用して頂き、今一度、スマートフォン等の取り扱いについてお子様と話し合いの時間を設けて頂けると幸いに思います。

※参考までに、「他人への誹謗・中傷は、重大な人権侵害であり、名誉毀損や脅迫罪等刑法上の罪に問われ、法的な責任を負う可能性があります」

また、年末年始は何かと気忙しい、そして、学校からの解放感も手伝うことから生徒の問題行動が発生しやすくなっております。とりわけ夜間の外出につきましては、誘惑も多く想定外の出来事が待ち構えていることも多くなることから、帰宅時間遵守を徹底して頂きたいと思えます。一般的に午後十一時以降の外出は「深夜徘徊」となり、補導の対象となるのでご注意願います。

月並みですが、私たち全ての教職員は、生徒一人ひとりが有意義に(学習・部活動に励み)この冬季休業を過ごし、そして全校生徒が揃って三学期の始業式を迎えられることを切に願っております。

**保健室より**

養護教諭

竹永恵美

菊池未来乃

**◎冬の感染症について**

寒さが厳しくなると心配なのが、インフルエンザとウイルス性胃腸炎です。下痢・嘔吐等の症状がある場合には必ず医療機関を受診してください。また体調不良を感じたら、家庭で体温を測り、発熱している場合には無理して登校せず、医療機関を受診してください。家族間や学校内での感染拡大防止のためにも手洗い・うがいとマスクの着用をしっかりしましょう。インフルエンザ等の感染症は出席停止になるので、担任から感染症による出席停止届を受け取り学校へ提出してください。



**◎健康診断治療票について**

一学期に各健康診断を実施し、治療が必要な場合には治療票を配布しました。もう治療はすみませしたか。まだ治療が終わっていない人は、冬休みを利用して必ず受診しましょう。特に三年次は高校生活最後の定期健康診断の結果

果です。治療後は保健室に治療票を提出してください。

**◎二学期を終えて**

たくさんの行事があつた二学期の保健室来室者数は、9月1日〜12月14日までの集計で来室者376人でした。

保健室来室者に体調不良の原因を聞いていくと睡眠時間が短い生徒が多いように感じます。睡眠不足になると①免疫力や記憶力の低下 ②肥満 ③精神状態が不安定になるなど精神的にも身体的にも影響が出てきます。良い睡眠のためには、①寝る1時間から2時間前にはスマートフォンやパソコン等を使用しない ②食事はなるべく寝る3時間前にすませる ③起きる時間を一定にすることが大切です。これから冬休みを迎え生活リズムが乱れやすくなります。冬休み中も規則正しい生活を心がけて体調管理に努めましょう。

**◎日本スポーツ振興センターについて**

学校管理下で怪我等をして病院を受診した人でまだ申請をしていない人は保健室に来てください。申請できる期間は二年間です。忘れずに申請してください。

H28年度 2学期保健室来室状況 (H28.9/1~12/14)

		9月		10月		11月		12月		計(人)
		内科	外科	内科	外科	内科	外科	内科	外科	
1年	男子	12	6	15	6	10	7	3	3	62
	女子	15	8	8	2	6	8	4	1	52
2年	男子	17	12	13	5	10	11	4	6	78
	女子	14	7	11	4	8	5	7	7	63
3年	男子	13	7	12	8	5	7	0	4	56
	女子	15	3	12	8	16	3	2	6	65
計		86	43	71	33	55	41	20	27	376